

あ行

【アイドリング】

クラッチが繋がらない程度の低速で、エンジンが回転を続けている状態。

【圧縮比】

ピストンの上下運動でシリンダー内の混合気がどれだけ圧縮されるかを示す数値。

【ウォーターハンマー】

キャブレターから大量の燃料がシリンダーに入り、シリンダー内が燃料で一杯になってクランクシャフトが動かなくなった状態を指す。

【薄い】

キャブレターで作られる混合気の空気と燃料の比率で、適正值に対し燃料が少ない状態を指す。エンジンの燃焼効率が上がり出力が向上するが、燃料を利用した冷却効果が落ちる為、オーバーヒートなどを招きやすい。

【エアフィルター】

エンジン内へきれいな空気を送り込むため、砂やゴミなどを取り除くフィルター。

【エンジン回転数】

クランクシャフトの1分間の回転数で、rpm という単位で示される。数値が高いほど、高性能なエンジン。

【エンジンマウント】

シャーシへエンジンを搭載する時に台座として使うパーツ。

【オーバーチョーク】

エンジンのシリンダー内に、適正量以上の燃料が入ってしまっている状態のこと。

【オーバーヒート】

エンジン回転中に、温度が許容範囲よりも上昇してしまうこと。エンジンが停止したり、焼きついてしまったりする。

【オーバーホール】

エンジンの完全分解メンテナンス。

【オーバーレブ】

エンジン回転数が許容範囲を越えてしまうこと。大きな負荷が発生するため、エンジン破損につながる場合が多い。

【OS ABC システム】

アルミ製ピストン、プラスチックスリーブ、コンポジットメッキ加工インナーシリンダーのことを指す。現在の中級レベル以上のエ

ンジンでは当たり前になっている。

【Oリング】

ラバーもしくはシリコンをリング状にしたパーツ。シーリングや緩衝材として使用される。

か行

【下死点】

シリンダー内で、ピストンが最も低い位置にくる状態のこと。

【ガスケット】

シリンダーヘッドとクランクケースの接合部などに挟み込んで、圧縮漏れを防ぐためのパーツ。

【カバープレート】

エンジン後部に付けられる蓋状のパーツ。

【逆止弁】

燃料タンクなどに用いられる、文字通り一方通行の弁のこと。

【キャブレター】

燃料を霧状にして空気と混合し、シリンダー内部へ送り込むための装置。気化器。

【クーリングファン】

エンジンなどを冷やす強制冷却ファン。

【クラッチ】

エンジンのパワーを駆動系へ伝えたり、切ったりする装置。R/Cカーでは遠心力を利用したクラッチが使われている。

【クラッチシュー】

遠心クラッチの構成パーツ。エンジンの回転が上がると遠心力で拡がり、クラッチベルの内壁と接触することで、エンジンのパワーを伝えるパーツ。

【クラッチベル】

クラッチ部を覆うような形で取りつけるカバーで、内側にあるクラッチシューから動力を受け取る。

【クランクケース】

エンジンのメインアウターケースのこと。

【クランクシャフト】

ピストンの往復運動を回転運動に変え、パワーを取り出すためのシャフト。

【クリアランス】

隙間のこと。

【グロープラグ】

R/Cエンジン用の点火プラグ。実車エンジ

ンのプラグとは違い、エンジン始動時には外部電源によってプラグのフィラメントを赤熱させ、始動後は爆発の余熱によって赤熱を持続させる。

【クロスレンチ】

プラグレンチと同様の意味。プラグを外すための専用工具で十字型の形をしていることからこう呼ばれる。

【グロメット】

サーボ等を取りつける時に使用するラバー製のパーツ。振動を吸収し、サーボを保護するためのもの。ゴムブッシュ。

【コールド】

プラグの熱価が低いことを指す。

【濃い】

キャブレターで作られる混合気の空気と燃料の比率で、適正值より燃料が多いことを指す。この状態ではあまりエンジンは回らない。

【後方排気エンジン】

2ストロークエンジンで排気ポートがバックプレート側にあるタイプを指す。キャブレターのあるインテークポートから入った混合気が直線的に圧縮爆発する経路をとるため燃焼効率がいいとされている。吸気側を前方とした場合、正反対側（後方）に排気ポートが来るため後方排気と呼ばれる。ツーリングカー用エンジンの中ではTRシリーズがそれにあたる。

【混合気】

空気と燃料を混ぜ合わせた霧状の燃料。

【混合気調整スクリュー】

キャブレターに装着される調整ネジのひとつで、主となる混合比を決定するもの。メインニードル同意。

【コンロッド】

コネクティング・ロッドの略。ピストンとクランクシャフトをつなぎ、ピストンの上下運動を、クランクシャフトへ伝える役割を果たすパーツ。

さ行

【最高出力】

エンジンの限界出力のこと。何回転の時に何馬力の出力があるかで表示する。

【最大トルク】

エンジンが回転しようとする力の最大値。Kg-m で示される。

【サイドエグゾーストエンジン】

⇒側方排気エンジン

【サイレンサー】

排気消音器のこと。マフラー。

【GP】

ガス・パワードの略。エンジンモデルを示す場合に使う。

【受信器用バッテリー】

GPカーで、受信機とサーボを動作させるために使うバッテリーのこと。

【シェイクダウン】

完成したばかりのモデルを初めて走行、または飛行させること。

【上死点】

シリンダー内で、ピストンが最も高い位置にくる状態。

【シリコンチューブ】

燃料タンクとキャブレター、またマフラーとキャブレターなどをつなぎ、シリコン製のチューブのこと。グロウ・燃料に腐食されない素材となっている。

【シリンダー】

ピストンが上下運動をする空間のこと。

【シリンダーヘッド】

シリンダー上部、グロープラグを取りつける部分で、冷却フィンが設けられているものが一般的。

【シリンダーライナー】

クランクケース内に挿入しシリンダーの内壁となる、銅製の円筒形パーツ。2ストロークエンジンの場合は、この部分に多数の吸排気ポートが開けられ、エンジンの特性を決定付ける大切なパート。

【スケールマフラー】

R/Cモデルのスケールアップの目的も兼ね、実物に似た形状のマフラーのこと。スタイリッシュなものが多いが、排気効率はチューンドタイプなどには及ばない。

【スターター】

エンジンを始動させるためのエキップメント。内蔵されているモーターによってエンジンのフライホイールを回して始動させる。ボックスタイプとハンディタイプに大別される。

【スターターボックス】

モーターを内蔵した、箱型のエンジン始動用エキップメント。ガイドピンで位置決めをしたボックスの上へR/Cカーを乗せるだけなので、ハンディタイプのスターターよ

りも容易に始動が行える。

【ストール】

エンジンの回転しようとする力が、負荷の大きさに負けて、回転が落ち込んだり停止してしまうこと。スロットルを一気に開いたために空気が入りすぎたり、エンジンの回転が低いうちにクラッチが繋がったりした時に起こる。

【ストローク】

ピストンが移動する上死点から下死点までの距離をいう。→上死点。下死点。

【スロー絞り】

エンジンの回転に合わせて燃料の流量を調整するために、ニードルバルブとは別にロータリーバルブの回転に連動して、直接燃料の流量を制限するバルブを設けたシステム。

【スロットル・サーボ】

スロットル・バルブの開き量を変え、エンジンの回転数をコントロールするのに使われるサーボ。

【スロットル・トリム】

ブレーキやニュートラルのポイントを微調整するためのトリムで、送信機についている。

スロットル・サーボのニュートラル調整を行った後、補助的な調整が必要な時に使用する。

【スロットル・バルブ】

エンジン回転数を調整するために、混合気の量をコントロールするためのバルブ。キャブレター部にあり、スロットル・サーボの動きに合わせて、開閉を行うようになっている。

【スロットル・レスポンス】

スロットルトリガー、あるいはスロットルスティックを操作した時に、エンジンの回転が上昇してくるまでの反応のこと。

【掃気】

新しい混合気をシリンダー内へ送り込み、燃焼後の混合気を排出する行程のこと。

【掃気ポート】

クランクケース内からシリンダー部へ、混合気を流入させるためのポート(穴)のこと。

【側方排気エンジン】

吸気ポートから入った混合気が圧縮爆発の後、90度曲がって側方に排気されるエンジンを指す。2ストロークエンジンの一般的な形態で、CVシリーズがそれにあたる。

た行

【ターボエンジン】

ターボヘッドを搭載するタイプの2ストロークエンジンで、ノーマルヘッドエンジンより格段にパワーアップしているのが特徴。実車のような加給機を備えるものではない。詳しくはPI2を参照。

【ターボヘッド】

ノーマルヘッドに比べ、より理想的な燃焼式形状を持つシリンダーヘッド。

【ターボプラグ】

ターボヘッドの形状に合わせて作られた専用プラグ、先端がテーパ状になっているのがその特徴。

【ダスティー】

汚れていること。R/Cカーでは、砂埃などが多い路面を指す場合が多い。

【ダブルアジャストキャブレター】

メインニードル。アイドル調整バルブに加え、もうひとつ、メータリングニードルを備えるキャブレター。さらに細かいキャブレター調整が可能で、主にハイパフォーマンスエンジンと組み合わせて使用される。

【ダブルベアリング】

クランクシャフトの2ヶ所をベアリング支持しているタイプを指す。

【タベット】

4ストロークエンジンの、カムとブッシュロッドの間に挟まるパーツ。バルブを駆動するロッカーアームのクリアランス調整のことをタベット調整とも呼ぶ。

【チューンドサイレンサー】

チャンバータイプのマフラーのことで、排気脈動を利用してエンジンパワーをさらに引き出すタイプのサイレンサーを指す。一般的には競技指向のパーツとされている。

【チョーク】

エンジンの始動性を向上させるために、若干の燃料をキャブレターに送る行為。ブライミングとも言う。

【チョークボタン】

キャブレター内へ燃料を送るため、R/Cカーのタンクに設けられている簡易ポンプのプッシュスイッチ。

【チョークポンプ】

燃料缶から車載タンクへ、燃料を移し替える時に使用するポンプボルト。

【2サイクルストローク・エンジン】

吸入・圧縮・爆発・掃気という一連の作業を、「ピストンが上がる」「ピストンが下がる」という2行程のみで行うエンジン。カー用では主流となっている。

【添加剤】

模型用エンジンに使用するグロー燃料に含まれる材料で、一般的にニトロと呼ばれる。燃料によってこの添加剤(ニトロ)含有量が細かく分けられていて、燃料の性格を大きく左右する要素となる。

な行

【慣らし運転】

→ブレイクイン

【ニードル】

キャブレターのパーツ。先端が針のように尖っていて、締め込む事によって燃料の流量を調整する。

【ニトロメタン】

グロー燃料に含まれている助燃剤。これが燃料中に多く含まれるほど起爆性が高まるが、各パーツの負荷が増えてエンジンの寿命を縮めてしまう危険も増える。

【ニュートラル】

中立の意味。ステアリング・サーボの調整では、右にも左にも偏っていない状態を指し、スロットルでは、前進側にもブレイク側にも偏っていない状態を指す。

【ネジロック剤】

ネジが緩まないように、固定させるためのケミカル剤。

【燃焼室】

→シリンダー

【燃費】

実車でいうところの燃費と同じ意味で、燃焼消費率を指す。

【燃料】

R/C エンジン専用燃料で、メタノールを主燃剤とし、ニトロメタンを助燃剤に使用する。潤滑油はヒマシ油か化学合成油、あるいはこの両方をブレンドしたものをを使うのが一般的。

【燃料タンク】

GPカーに燃料を搭載するための樹脂製タンクのこと。

【燃料フィルター】

燃料タンクから、キャブレターへつなぐチューブに取り付けることで砂埃などを取り除いてくれるフィルター。

【ノッキング】

異常燃焼による不正な回転。

は行

【排気ポート】

シリンダー内で燃焼した混合気の排出孔のこと。

【排気量】

ピストンが下死点から上死点へ移動する際に、排出される気体の量。エンジンの大きさを知るための目安。

【パイロットシャフトタイプ】

クランクシャフトの先端がパイロットシャフト一体の形状に最初からなっているクランクシャフトを指す。センタックスタイプのクラッチを取り付ける場合は、パイロットシャフトタイプが必要。いわゆる SG シャフト。

【ハウジング】

機械部分を包み込むケースのこと。

【バッドフレード】

サイレンサーの中に装着される、消音効果高めめる板状のパーツ。この部品を外すと消音効果は低くなるが、排気の抜けが良くなりエンジン出力は向上する。

【バランサー】

クランクシャフトのコンロッド取り付けシャフトの反対側に設けられているオモりの部分を指す。カウンターウエイトとも呼ばれる。

【バルブリフト量】

4ストロークエンジンのヘッドに設けられた吸排気バルブの可動量を示す数値。

【パワーオフ】

スロットルトリガー、またはスロットルスティックを中立に戻し、エンジン回転を落とすこと。

【パワーオン】

スロットルトリガー、またはスロットルスティックを引いて、エンジンの回転を上げること。

【パワートレイン】

駆動系。エンジン動力をタイヤに伝達するまでのメカニズムの総称。

【ヒートシンク】

エンジンなど、発熱するものに取り付け、冷却効果を上げるためのパーツ。

【ヒートシンクヘッド】

ヒートシンクを備えたシリンダーヘッドのこと。

【ピストン】

エンジン燃焼時の爆発力を受けて、シリンダー内を上下する筒状のパーツのこと。な

お、オイルダンパーでダンパーシャフトへ取りつける円盤状のパーツもピストンという。

【ピストンピン】

エンジン構成パーツの1つ。ピストンとコンロッドをつないでいるピンのこと。

【ピストンリング】

ピストンの外周先端付近に装着されるリング状のパーツで、シリンダー(スリーブ)内壁とピストンのスキ間を埋め、燃焼室の適正な圧力を確保するもの。主に4ストロークエンジンに用いられる。

【ビット】

サーキットで車を整備したり給油を行ったりするためのスペース。ビットエリア

【ビニオンギヤ】

GPカーではエンジンのクラッチベルに取りつける小型のギア。なおクラッチベルとビニオンギヤが一体型になっているタイプもある。

【ブースターケーブル】

グロープラグを赤熱させる際に使用する、プラグとバッテリーを接続するコード。

【ブッシュロッド】

4ストロークエンジンに備えられる棒状のパーツでクランクシャフトの回転で駆動されるカムの上下動を、バルブを駆動するロッカーアームに伝達するもの。

【フェューエル】

GPカーの燃料。→燃料。

【4サイクルストローク・エンジン】

吸入・圧縮・爆発・掃気という一連の作業を、4つの行程で行うエンジンのこと。

【フライホイール】

エンジンのドライブワッシャーと、クラッチシューの間に取りつけてある円盤状のプレート。エンジンを始動させる時に、スターターを当てる部分。

【プラグ】

→グロープラグ。

【プラグレンチ】

グロープラグをシリンダーヘッドから脱着する時に使うツール。

【プラグヒート】

グロープラグのフィラメントを赤熱させること。

【フルスロットル】

送信機のスロットルトリガーを一杯に引く、またスロットルスティックを一杯に上げた状態のこと。

【ブレイキヤリバー】

ディスクブレイキの構成部品で、ブレイキローターを挟み込むディスクパッドのマウントとなるパーツ。

【ブレイクイン】

慣らし運転。新品エンジンの各部の擦り合わせをよくするため、低回転・低負荷で行うエンジンの空回し、あるいは走行のこと。

【プレッシャーニップル】

燃料タンクからキャブレターへスムーズに燃料が流れるように、燃料タンク内を加圧するが、この時の圧力をマフラー部からとるための取り出し口。

【プロペラシャフト】

シャフトドライブ4WDで、前後のドライブトレインをつないでパワーを伝達するシャフト。

【プロポ】

デジタルプロポショナルシステムの略称。一般的にR/C装置の送信機の事をプロポと呼ぶ。

【フューエルガン】

R/Cカーのビットイン時に、素早く燃料を給油するためのツール。ピストルの形に似ていることからこう呼ばれている。

【ベアリング】

軸受けのこと。メタルベアリング、プラスチックベアリング、ボールベアリング等がある。ただし、単にベアリングといった場合には、ボールベアリングを指している場合が多い。

【メーターギア】

傘型の歯車。ギヤデフ等に使用される。

【ボア】

エンジンのシリンダー部の内径。

【ボアアップ】

シリンダーの内径を拡げて、排気量をアップさせること。

【ボア・ストローク比】

エンジンのシリンダー内径(ボア)と、ピストンがシリンダー内を移動する距離(ストローク)の比率。この数値が小さいエンジンは高回転型で、この数値が大きいエンジンは高燃費型になる傾向がある。

【ポートタイミング】

混合気がシリンダー内へ流入する掃気ポートと、排気ガスがシリンダー内から排出する排気ポートが、開いたり閉じたりするタイミングのこと。

【ボールベアリング】

数個のボールによって支えられた軸受けのこと。

【ポケットブースター】

電源にニッカド電池を使用することで、コンバクトに仕上げられたプラグヒート用の小型のエキップメント。

【ホット】

プラグの熱値が高いこと。逆はコールド。

【ボルトオン】

パーツの取り付けに特殊に加工を必要せずビスやナットだけで取り付けられるという意味。

【ボンブ】

燃料タンクに燃料を入れるポリエチレン製の専用容器。大きなスポイト状のもので、ノズルがポリエチレン製とアルミ製のものがある。

ま行

【マニホールド】

エンジンとキャブレターやマフラーを繋ぐジョイントのためのパーツを指す。

【マフラープレッシャー】

マフラー内部にかかる排圧を利用して、キャブレターへの混合気の供給をスムーズにするシステム。

【ミディアム】

プラグの熱値を指し、ホットとコールドの中間を指す。

【メーターニードル】

ダブルアジャストキャブレターに追加されるいわゆるスローニードルのこと。

【メインニードル】

調整の意。コンディションを維持するため、R/Cカーの各部や、関連エキップメントを

【メカ】

R/Cモデルのサーボや受信機など、シャシーへ搭載する電子機器を指す。

【メカデッキ】

サーボ、受信機等を取りつける形式のパーツ。メカプレートともいう。

【メンテナンス】

整備の意。コンディションを維持するため、R/Cカーの各部や、関連エキップメントを

【モジュール】

ギヤの歯の大きさのこと。なお、送信機で周波数帯を決定するメカニズム部分のこと、モジュールという。

や行

【予備バンド】

予備のクリスタルのこと。レース時などには、自分と同じバンドを使用する参加者がいる可能性が高い。このため、状況に応じて自分のバンドを変更できるように、周波数の異なる数種類のクリスタルを用意しておく必要がある。この時のクリスタルの周波数を予備バンドという。

ら行

【ラバーシール】

ラバーで作られたボールベアリングのシールドのこと。銅版シールドに比べて防塵効果が高いが、やや回転抵抗が大きいという欠点がある。

【ランニングイン】

エンジンの鳴らし運転全般を指すブレイクインに対し、車体にエンジンを搭載し、スローペースで走行を行いながら慣らし運転を行うことを指す。

【リアエグゾーストエンジン】

→後方排気エンジン

【リコイルスターター】

エンジン本体に付属する簡易スターター。ロープとワンウェイベアリングを使用してクランクシャフトを回し、エンジン始動に必要な弾みを与える装置。プルスターターとも言う。

【レシーバープロテクター】

砂塵やGPカーのオイル汚れから受信機を護るため、受信機ケースへ被せておくカバー。

【レスポンス】

反応の意。送信機の操作に対するエンジンの吹け上がりや、ステアリングサーボの反応速度のこと。

【ローター調節ねじ】

アイドリング時のエンジン回転数を決めるスロットルバルブの開き量の調整ビス。

【ロッカーアーム】

4ストロークエンジンにおいて、ブッシュロッドからの入力を180度転換してバルブを駆動するシーソー型のパーツ。

わ行

【ワンウェイベアリング】

一定方向にしか回転しないように作られているベアリングのこと。